

米子東高等学校の現況等について

令和4年4月

はじめに

校長 田辺 洋範



日頃から、本校教育の充実発展に、保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、多くの皆様からご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、昨年度は学校行事や部活動の大会等も様々な問題に対応しながら実施し、令和4年度を迎えることが

できました。

昨年度の部活動については、夏の全国高等学校野球選手権大会出場、飛込の全国高等学校総合体育大会4位入賞、囲碁部の全国選手権大会7位入賞をはじめ、運動部、文化部ともに多くの部活動が活躍しました。今年度も、制限のある中で多くの部活動が全国大会出場を目指して、結果だけでなく経過を大切に頑張っています。

さて、今春の進学状況については、国公立大学合格者237名（現役生198名、過卒生39名）、私立大学合格者延べ493名、短期大学・専門学校等合格者延べ10名という状況でした。昨年度には及びませんでしたが、国公立大学現役合格者198名は過去10年で2番目の数で、多くの生徒の進路希望がかないました。これも、最後まであきらめず後期試験まで挑戦し続けた結果です。また、一昨年度から導入された「大学入学共通テスト」に対応し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の育成に、教員と生徒が一体となって取り組んだ成果でもあります。今後も、生徒の高い志を達成するために主体的な活動を推進し、体験活動を重視しながら、自分の能力を最大限発揮し、よりよい社会の実現に向けて努力する生徒の育成に努めていきます。

生徒の皆さんは、3年間の高等学校生活で、将来何になって、どのように社会に貢献するのか自分自身の目標を定め、そのために何をしなければならないのかを具体的に考えて行動してください。そして、自分自身の限界に挑戦し、米子市、鳥取県、日本だけでなく世界でも活躍できるよう努力してください。教職員も一丸となって、生徒の夢が実現できるよう教育活動の充実に取り組みます。

今後も、皆様のご支援、ご協力をお願いして、ご挨拶とします。

教育目標	未来を拓く人財の育成 生徒自身がこれから先の未来を主体的に切り拓き、国際社会、日本社会、地域社会をよりよくするために活動するチャレンジャーの育成を目指して米子東高等学校教育を推進する
柱	▶ 主体的な学びの推進 ・ICTを活用したアクティブ・ラーニング等による授業改善と適切な評価 ・SSH事業に取り組むことで、科学的探究心、情報発信力、実践力を身につけ、よりよい社会の実現を目指すチャレンジャーを育成 ・目標に向かって努力する生徒を育成する進路指導の充実 ▶ 豊かな人間性の育成 ・主体的・自律的態様の育成（規範意識、適切な言動、主権者意識、TEAS等） ・部活動の推進（経過を大切に指導） ・体験的な学びの推進（人権教育、地域交流・国際交流、読書活動の推進、ボランティア活動への積極的な参加等） ▶ 生徒・保護者・地域に信頼される学校 ・PTA活動の推進 ・地域への発信（学校運営協議会の推進）
重点事項	◆新入試制度への対応 ◆SSH事業の充実・発展 ◆「体験活動」の促進

総務部 主任 古田 克彦

【主な業務】

- ・PTA活動に関すること
- ・PTA会報「米東だより」の発行（今年度は107～109号を発行予定）
* PTA総務委員会が中心となり、PTA活動や学校行事、部活動の結果など紙面を通じて皆様にお知らせしています。
- ・本校ホームページを通じての情報発信
* 旬の話題を提供できるよう努力します。

【PTA各種委員会】

- ・総務委員会・進路委員会・人権教育推進委員会・生徒育成委員会
* PTA活動は、委員会を中心に行っており、各学年から選出された評議員がそれぞれの委員会に所属し、さまざまな取組を行なっています。PTA主催の研修会等も企画されています。保護者の皆様の多数の参加をお待ちしております。

教務部 主任 米江 毅典

家庭学習時間について

昨年度の各年次における平均家庭学習時間は以下のとおりでした。本校では家庭学習時間の目標を、1年次は3時間、2年次は4時間、3年次は5時間としていますが、全体的に家庭学習時間が不十分な生徒も多いようです。起床時刻、就寝時刻と学習開始時刻の3点を固定するなど、規則正しい生活を心がけ、家庭学習時間を確保するように引き続き生徒に促していきます。

今年度の1年次生から観点別学習状況の評価を家庭連絡簿に記載します。各教科・科目の評定についても、定期考査だけでなく、科目ごとにパフォーマンス評価を導入していますので、予習・復習などの日々の授業の大切さを伝えるとともに生徒の主体的な学びを推進していきます。また、昨年度入学生から生徒1人ひとりがクロームブックを使用しています。国語、英語の辞書機能や数学でのグラフの描画機能、課題の配信やグーグルクラスルームでの連絡など、様々な場面で積極的に活用していきます。

	R3年6月（R2年度）	R3年11月（R2年度）	R4年2月（R2年度）
1年平日	2.16時間（2.11時間）	1.91時間（1.88時間）	2.16時間（1.67時間）
休日	4.32時間（4.19時間）	4.05時間（3.65時間）	6.91時間（5.07時間）
2年平日	2.08時間（2.13時間）	2.13時間（1.97時間）	1.85時間（1.58時間）
休日	3.62時間（4.51時間）	3.85時間（3.79時間）	6.41時間（5.67時間）
3年平日	2.81時間（3.15時間）	3.55時間（3.79時間）	
休日	4.86時間（6.24時間）	6.89時間（7.26時間）	

各コースの人数と男女の人数について

令和4年度の各コースの人数と男女の人数は以下のとおりです。

	理 系	文 系	生 命 科 学	合 計
1年次生	241（6クラス）		40（1クラス）	281（7クラス）
	男102 女139		男25 女15	男127 女154
2年次生	124（3クラス）	120（3クラス）	40（1クラス）	284（7クラス）
	男71 女53	男45 女75	男24 女16	男140 女144
3年次生	137（3クラス）	138（4クラス）	40（1クラス）	315（8クラス）
	男81 女56	男48 女90	男26 女14	男155 女160

進路指導部 進路指導主事 廣 江 淳 一

最初に、今春の卒業生 313 名の内、進学先決定者の内訳を報告いたします（表 1）。

表 1 令和 3 年度卒業生進学先（延べ数）（令和 4 年 4 月 13 日現在）

卒業生	国公立大	私立大	短大	専門学校等	就職	その他	計
令和 3 年度	183	64	0	1	1	64	313

本校進路指導部は、

- ・主体的な学びおよびキャリア教育の両面から明確な進路意識を持たせ 3 年間を見通した指導を行う
- ・大学入試問題の研究や大学入試情報の収集を積極的に行う
- ・進路検討会を充実させ情報の共有化を図り教員間の連携を深める

の 3 つの目標を柱として進路指導にあたっております。令和 4 年度入試は「大学入試センター試験」（以下、センター試験）に代わる「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）の開始 2 年目となりました。

コロナ禍における先行き不透明な状況の中、現役生・過卒生共に、学びを止めず、進路目標を的確に定め、その実現に向けて最後まで粘り強く受験に立ち向かってくれました。受験生諸君に敬意を表したいと思います。

さて、今春の入試を振り返りたいと思います。国公立大学の合格者数は 237 名（うち現役合格者数は 198 名）でした（表 2）。現役生・過卒生ともに健闘した結果であったと思います。また、本校が定める難関大学（旧 7 帝大、東京工大、一橋大、神戸大、国公立大学医学部医学科および国公立大学薬・歯・獣医学部）には現浪併せて 54 名が合格しました。昨年度比で 7 名の減少となりますが、東京大学に現役で 3 名、京都大学に 6 名（現役 4 名）の合格者が出るなどの成果が出ています。私立大学の現浪合わせた合格者数は 493 名となり、昨年より 37 名の増加となりました。安全志向の高まりや W E B 出願の増加により同一大学他学部への併願が容易になり、一人当たりの受験機会が増えたこと等が要因として考えられます。

次に、今年度入試に目を向けたいと思います。新入試制度導入の 2 年目は難化する傾向が過去の共通一次やセンター試験からも予測されてはいましたが、その予想を超え、12 科目で平均点がダウンしました。センター試験・共通テストを通して、史上初めて得点率が 40% を割り込んだ数学 I・A をはじめ、日本史 B、化学、生物、生物基礎が過去最低を記録しています。これまでのセンター試験は「どれだけ知識を理解しているか」が問われたのに対し、共通テストでは「知識をいかに活用するか」が問われる試験に変わった影響だと考えられます。全体的に、資料の読み込みなど情報処理能力が要求されていると感じました。では、今後共通テストに向けてどのような対策をすればよいのですが、最も大切なものは「授業」です。実験やディスカッション、SSH やグループ学習、プレゼンテーションなど、授業で行われる様々な活動に主体的に参加することで、判断力や素早い情報処理能力が養えます。また、日頃から「なぜそうなるのか」という本質的な理解を深めることがより大切になります。

最後に、進路指導部では、生徒の学力向上、進路志望実現のため充実した指導に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

表 2 入試年度別国公立大学合格者数の推移（延べ数）（令和 4 年 4 月 13 日現在）

	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	R 2	R 3	R 4
国公立大学	223	184	238	186	220	219	224	208	269	237
現役	166	130	172	139	159	161	166	147	206	198
過卒生	57	54	66	47	61	58	58	61	63	39

大 学 合 格 者 数 （過年度卒を含む）（令和 4 年 4 月 13 日現在）

【国立大学】

大 学 名	R3 年度	大 学 名	R3 年度	大 学 名	R3 年度	大 学 名	R3 年度
帯 広 畜 産 大	1	埼 玉 大	1	横 浜 国 立 大	1	名 古 屋 大	2
北 海 道 大	1	電 気 通 信 大	3	富 山 大	1	滋 賀 大	2
東 北 大	2	東 京 大	3	福 井 大	1	京 都 大	6
茨 城 大	1	東 京 学 芸 大	2	静 岡 大	2	京 都 工 芸 繊 維 大	1
筑 波 大	3	東 京 工 業 大	1	愛 知 教 育 大	1	大 阪 大	6

【国立大学】

大 学 名	R3年度
大 阪 教 育 大	2
神 戸 大	9
奈 良 教 育 大	1
鳥 取 大	34
島 根 大	37
岡 山 大	32
広 島 大	14
山 口 大	12
徳 島 大	2
香 川 大	2
愛 媛 大	5
高 知 大	3
九 州 大	3
九 州 工 業 大	1
福 岡 教 育 大	1
長 崎 大	1
大 分 大	2
宮 崎 大	1
< 合 計 >	203

大 学 名	R3年度
名 桜 大	1
【 合 計 】	34

【私立大学】

大 学 名	R3年度
臨 農 学 園 大	1
国際医療福祉大	1
自 治 医 科 大	1
文 教 大	2
千 葉 工 大	4
青 山 学 院 大	9
跡見学園女子大	1
慶 應 義 塾 大	2
工 学 院 大	1
駒 澤 大	5
芝 浦 工 業 大	2
順 天 堂 大	1
成 城 大	1
専 修 大	2
拓 殖 大	1
中 央 大	5
帝 京 大	1
東 海 大	4
東 京 経 済 大	1
東 京 女 子 大	3
東京女子体育大	2
東 京 電 機 大	1
東 京 農 業 大	3
東 京 理 科 大	2
東 洋 大	3
日 本 大	7
日本女子体育大	1
文 京 学 院 大	1
法 政 大	5
武 蔵 野 大	1
明 治 大	7
明 治 学 院 大	1
立 教 大	4
早 稲 田 大	10
学 習 院 女 子 大	1
神 奈 川 大	2

大 学 名	R3年度
金 沢 工 大	2
愛 知 学 院 大	1
愛 知 工 業 大	1
藤 田 医 大	1
成 安 造 形 大	1
大 谷 大	1
京 都 産 業 大	29
京 都 女 子 大	10
京都先端科学大	2
京 都 橋 大	3
京 都 薬 科 大	3
同 志 社 大	31
同 志 社 女 子 大	2
佛 教 大	4
立 命 館 大	42
龍 谷 大	27
追 手 門 学 院 大	1
大 阪 医 薬 大	1
大 阪 経 済 大	2
大 阪 工 業 大	3
大 阪 産 業 大	1
大 阪 歯 科 大	1
関 西 大	16
関 西 医 大	3
関西外国語大	9
関西福祉科学大	1
近 畿 大	40
摂 南 大	4
桃 山 学 院 大	2
森ノ宮医療大	2
大 和 大	2
関 西 学 院 大	34
甲 南 大	5
甲 南 女 子 大	9
神 戸 学 院 大	1
神 戸 女 学 院 大	3
神 戸 女 子 大	13
神 戸 常 盤 大	1
兵 庫 医 療 大	1
武 庫 川 女 子 大	13
畿 央 大	1

大 学 名	R3年度
鳥 取 看 護 大	4
岡 山 理 科 大	7
川 崎 医 大	2
川崎医療福祉大	9
山 陽 学 園 大	1
就 実 大	7
清 心 女 子 大	3
美 作 大	1
日赤広島看護大	1
広 島 工 業 大	2
広 島 国 際 大	7
広 島 女 学 院 大	1
広 島 文 教 大	1
福 山 大	2
四 国 大 学	1
安 田 女 子 大	9
徳 島 文 理 大	1
九 州 産 業 大	1
産 業 医 大	1
西 南 学 院 大	2
福 岡 大	2
< 合 計 >	493

【公立大学】

大 学 名	R3年度
秋 田 県 立	1
高 崎 経 済 大	1
埼 玉 県 立 大	1
千葉保健医療大	1
東 京 都 立 大	2
川崎市立看護大	1
横浜市立大	1
都 留 文 科 大	1
岐 阜 薬 科 大	1
京 都 府 立 大	1
大 阪 公 立 大	3
兵 庫 県 立 大	3
神戸市外国語大	4
奈良県立医大	1
新 見 公 立 大	1
尾 道 市 立 大	2
広 島 市 立 大	1
下 関 市 立 大	5
北 九 州 市 立 大	2

【短期大学】

大 学 名	R3年度
神 戸 女 子 短 大	3
【 合 計 】	3

【大学校等】

学 校 名	R3年度
防衛医科大学校	1
防 衛 大 学 校	1
水 産 大 学 校	1
【 合 計 】	3

【専門学校等】

学 校 名	R3年度
県立歯科衛生専門学校	1
米子医療附属看護学校	5
Y M C A 米子医療 福祉専門	1
【 合 計 】	7

生徒部

生徒指導主事 谷川 賢次

(生徒会)

1 生徒会活動について

次のような目標を掲げて、生徒会活動を実践させる中で、「自主」「自立」の精神と能力を養い、高校生活を送る上で快適な環境を築き、各自の将来に役立てるべく努力しています。

(1) 学校生活を楽しく規律正しいものにし、よい校風を築く

(2) 学校における集団活動に積極的に参加し、ルールに従って行動する態度を身につける

(3) 自治的能力を身につける

今年度より、ルールメイキングプロジェクトと題して、生徒会を中心に校則の見直しについて取り組みます。校則の内容が生徒の実情、社会や時代の進展を踏まえたものとなっているか絶えず確認をし、必要に応じて見直しをするよう、生徒が主体となって取り組む一連の過程を生徒の学びに繋げたいと考えています。

また、年間の最大行事である柏葉祭は、生徒会執行部とともに柏葉祭実行委員会を組織し、企画・運営にあたっています。一昨年、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し、会場は文化の部を米子コンベンションセンター、体育の部をどらドラパーク米子陸上競技場で実施しました。制限のある中で、例年通りでは無く、工夫して実施した柏葉祭となりました。柏葉祭の開催に際しましては、物心両面での多大なご協力をいただいております。本年度も、これらの学校行事の教育的意義をご理解いただき、引き続きご協力をよろしくお願い致します。

2 部活動について

多くの生徒が校風の「文武両道」を目標とし、運動部、文化部、同好会などの活動を通して、勉学との両立を目指して頑張っています。昨年度は、硬式野球部が夏の甲子園出場、全国高校総体で女子高飛込が4位、全国高校囲碁選手権で団体が7位に入賞しました。また、中国大会に出場した部活動・個人は54、全国大会に出場した部活動・個人は33でした。現在、多くの部活動が5月末に開催されるインターハイ県予選をめざして厳しい練習を行っています。このように、生徒一人一人が今後も「文武両道」の実現ができますよう、ご理解、ご協力および一層のサポートを、引き続きよろしくお願い致します。

3 部活動後援会について

部活動が活性化するほど、全国大会や中国大会への出場も増え、遠方への宿泊費や派遣費が必要となります。本校でも、生徒会予算を立て、各部活動への援助を行なっていますが、十分に各部活動の要望に応えられていないのが実情です。そこで部活動後援会を組織し、諸活動の運営を円滑に行うために、生徒の経済的負担を軽減し、補助を行なっております。生徒一人ひとりの学校生活がより有意義なものになるように、お力添えいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

4 環境整備作業について

生徒一人ひとりの環境意識を高揚させるために、学校施設の環境美化に重点を置き、日々の清掃活動や学校施設内の整理・整頓を心がけています。また、鳥取県版環境管理システムⅡ種(T.E.A.SⅡ)を導入し、清掃に関する講演会を開催するなど、自分たちの住空間の整備・維持に努めています。そして、生徒一人ひとりが主体的に、社会の構成員として成長できるよう活動しています。ご家庭でも話題にいただき、ご協力をお願いします。

(生活指導)

米子東高生として主体的に行動し、自覚と責任ある行動をとることができる人間の育成を目指し教育活動を行っています。

(1) 時間を守る

(2) ルールを守る(遵法精神)

(3) 挨拶の励行

(4) 地域に根差した人間の育成

を目標に、ルールが守れない生徒に対しては、その場で啓発・指導します。

昨年度より、生徒の安全を最優先に考え、自転車通学生は自転車用ヘルメットを着用するとともに自転車保険に加入しなければならないとし、令和3年・4年度を移行期間としました。1、2年次生は、自転車用ヘルメットの着用と自転車保険の加入を自転車通学許可条件とし、3年次生については、自転車乗車用ヘルメットを着用するよう指導します。

また、携帯電話・スマートフォンによる誹謗・中傷や様々な書き込み、軽率な写真・動画の掲載、安易な個人情報の流出など、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)などのネットトラブルに関して常に注意を払い、秩序を乱す行為に対しては、厳しく指導します。生徒がトラブルや犯罪に巻き込まれないよう、保護者、地域、関係機関等と連携を密にして、トラブル防止・啓発に努めていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

生徒支援部

保健体育主事 田中春妃

生徒支援部には、生徒の皆さんが安心して安全な高校生活を送り、自信をもって自己実現に向かえるよう、様々な悩みや困りごとを一緒に考える4つの窓口があります。心身に関すること、人権に関すること、発達の特性に関することなどで困ったとき、悩んだときには、保護者の皆様とともにサポートしていきます。本当の自立とは、何でも一人でできることではなく、自分の能力と限界を見極め、一人でできないことも他者とつながることで乗り越えていけることです。生徒の皆さんがよりよく誰かとつながる高校生活を送れるよう見守っています。

(保健)

1. 身体発育状況

◎身長・体重の平均(令和3年度) ※全国は令和2年度のもの

年齢	性別	身長(cm)				体重(kg)			
		全 国		本 校		全 国		本 校	
		男	女	男	女	男	女	男	女
15 歳		168.8	157.3	168.9	157.3	58.9	51.2	57.9	49.7
16 歳		170.2	157.7	170.9	158.3	60.9	51.9	60.6	51.4
17 歳		170.7	157.9	170.6	158.4	62.6	52.3	63.1	51.9

2. 保健行事

【前期(4月～9月)】

身体計測、尿検査、内科検診、歯科検診、心電図検査(1年)、レントゲン検査(1年)、運動器健診、聴力検査(1年・3年)、デートDV予防学習会

【後期(10月～3月)】

眼科検診

(保健室から)

日頃「何となく気分が悪い」とか「頭痛・腹痛が続く」と言った内科的な症状で、生徒が保健室を訪れますが、精神的な要因によることも多くあります。

生徒が成長し発達していく過程では、何らかの心身症的な兆候を一過性に示すこともあるので、それほど神経質になることもないと思いますが、生徒自身の成長と発達を信頼しつつ、過干渉や放任にならないように気を配ることは大切であると思います。

保健室では救急処置ばかりでなく、こうした観点からも生徒の心身両面への対応を教育相談と共に連携し、行っていきたいと考えています。

(人権教育)

人権・平和・多様性への関心が高まる中、SDGs(持続可能な開発目標)に明記されている通り、グローバルな人権保障・人間尊重の実現が国際社会の政策目標として共有される時代になってきています。解決すべき多様な人権課題がこの現代日本において、社会化の帰結として自らのものとなった価値観や常識について、異なる他者の現実のあり方を通して再帰的に検証することは、市民性(citizenship)を確立していく上で必要不可欠な学びです。人権意識を高めるために、日頃から「人権」について、ご家庭・地域などでしっかりと話し合っていいただければと思います。

【人権テーマ】

- 1 年次「自分にとっての身近な差別とは何か」
- 2 年次「人権に関する諸問題や自己の解放について」
- 3 年次「これまでの人権学習を振り返り、自らの生き方や人生観を考える」

【人権教育LHR】

- ・実施時期(各学年の人権テーマに基づいて実施)
 - 1・2 年次: 10 月～11 月
 - (10 月・人権教育講演会、11 月・公開LHR、1 年次はワールドカフェ形式)
 - 3 年次: 6 月

【PTA人権教育推進委員会】

- ・主な活動内容(予定)
 - 機関紙「ログスのこころ」発行(年間2回)
 - 研修会の開催(年間2回)

* 各種研修会等への保護者の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

（教育相談）

教育相談の主たる役割は、生徒の個人的な悩みに対して相談に応じ、生徒が希望を持って前進できるようにアドバイスをし、それを手助けすることです。本校生徒が抱える悩みとしては、勉強に関すること、部活動に関すること、家族や友人との人間関係に関すること、自分自身の性格や特性に関することなどがあります。内容はさまざまですが、周囲の期待に応えたいと頑張りすぎている自分に気づかず体調を崩してしまっただけから、やっと苦しい思いを打ち明けてくれる生徒が多くいます。困った時に一人で抱え込まず誰かに相談するということは、自立への重要な第一歩です。つらい時には信頼できる大人や教育相談の窓口ぜひ相談してください。

【相談窓口】

- ・相談事務室（芸術棟 2 階） 担当：田中春紀（国語科）
- ・教務室（管理・教室棟 2 階） 担当：前田洋子（芸術科） 中永晶子（数学科）
- ・保健室（管理・教室棟 1 階） 担当：美甘あゆみ（養護教諭） 吉岡瞳（養護助教諭）

【相談方法】

- ・生徒：直接相談事務室や保健室を訪れてください。
- ・保護者：担任を通じて、あるいは直接相談事務室や保健室にご連絡ください。（電話 0859-22-2178）

【スクールカウンセラーによる相談】

本校では教育相談担当教員とは別に、スクールカウンセラー（教育相談員・公認臨床心理士）も生徒や保護者の相談にあたっています。相談内容に特に決まりはありません。

- ・毎週火曜日（午後 1 人 45 分）
- ・予約制（上記相談窓口にて日程調整）
- ・近年実績：年間 80 件程度（生徒及び保護者の相談件数）

（特別支援教育）

近年、高等学校において、全国的に発達障がい等により特別な教育的支援を必要とする生徒が増加しており、指導・支援の充実が求められています。

本校においても、特別な教育的支援を必要とする生徒について、本校教育活動の中で適切な支援を行いながら生徒の学校生活をサポートしています。高校生の発達段階において、社会への自立を目指した効果的な指導・支援ができるよう、校内における支援体制を整備しています。その中で、生徒、保護者の希望に応じて「個別的教育支援計画」の作成・活用等も行っています。

すでに医師による診断を受けている、診断はないが学校生活に困難を抱えている、小中学校で特別な教育的支援、配慮をうけてきた等、知っておいてほしいことやご相談等がありましたら、本校特別支援教育担当（TEL0859-22-2178）までお問い合わせください。

教育企画部

教育企画部主任 小笠原 雅 史



本校は、H29 年度より文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として研究開発を行っています。昨年度第Ⅰ期（5 年間）の指定期間が終了しましたが、今年度より第Ⅱ期の指定を受け、第Ⅰ期で確立した基礎の上に新たな取組を進めていくこととなりました。本校 SSH 事業の概要は、左図のとおりです。詳細については、SSH 指定校を所管する国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の HP（<https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/>）をご覧ください。

教育企画部は、「STI で、よりよい社会を目指すチャレンジャー」の育成を目的とした研究開発を所管し、SSH 事業の企画・運営・実施を支えます。この研究開発では、「科学探究力」を中

核とし、それを確固たるものとする「貢献意識」、その実践力を身に付ける「挑戦力」を理論的に育成することを目標としており、全校体制で学校設定教科「課題探究」を中心とした各種事業を実施することにより、生徒の持つ各種能力の伸長を図ります。

【教育企画部所管各事業（抜粋）】

<課題探究【国内研修】>

予定時期	内容
1年次9月	鳥取大学探究的活動（少人数分科会による体験的実験実習・普通コース希望者）
1年次9月	岡山大学探究的活動（少人数分科会による体験的実験実習・生命科学コース必修）
実施時期未定	Advance 国内研修（県外研究所などでの探究的活動・希望者）
2年次8月	鳥取大学探究的活動（探究的実験実習・生命科学コース必修）

<科学を創造する人財育成事業>

予定時期	内容
10月	各界の第一人者による講演（全校・必修）、各分野ごとの実験・コンテスト（希望者）

<土曜活用事業（希望者）>

予定時期	内容
7月	「一流から学ぶ心のトレーニング」（会場：米子東高校）
9月	「山陰海岸から日本海の成り立ちが見えてくる」（若鳥丸・中海沖）
10月	「地元のお城を知っていますか？ 米子城を学ぼう！」（米子城跡）
11月	「大山自然観察 大山の不思議と自然を知ろう！」（大山寺周辺）
12月	「島根県の科学も知ろう！ 三瓶山周辺の自然と科学」（島根県三瓶山周辺）
2月	「デジタルファブリケーションと科学の進歩に触れる！ 3Dプリンター研究」（会場：米子東高校）

<STI Challenge（希望者）>

予定時期	内容	募集時期など
7月	物理チャレンジ	4月頃募集
7月	生物学オリンピック	4月頃募集
10月	情報オリンピック	9月頃募集
10月	化学グランプリ	9月頃募集
11月	科学の甲子園	9月頃募集
12月	科学地理オリンピック	12月頃募集
12月	日本地学オリンピック	1月頃募集
1月	日本数学オリンピック	1月頃募集
1月	鳥取県高校生理数課題研究等発表会	12月頃募集
3月	日本物理学会 Jr. セッション	1月頃募集
3月	ジュニア農芸化学会	1月頃募集
3月	発明案コンテスト	1月頃募集

そのほか高校生を対象とした各種学会、発表会への参加を支援している。

<英語・国際交流関連（希望者）>

予定時期	内容	募集時期など
7月	小川奨学基金海外留学支援事業	グローバル人材育成を目的とし、アメリカ・ボストンの語学学校で研修を行う。 (8日間程度自己負担 20万円程度) ※令和4年度は検討中
7月	早原奨学基金海外留学支援事業	グローバル人材育成を目的とし、イギリス・チェルトナムの語学学校で研修を行う。 (8日間程度自己負担 20万円程度) ※令和4年度は検討中
9月	県高校生英語弁論大会	6月頃募集 上位入賞者2名は3月にニュージーランド派遣される。
10月～3月	グローバルリーダーズキャンパス	6月頃募集 スタンフォード大学の教員によるオンライン・ライブ講義を受講する。(無料)
10月	県・米国バーモント州青少年交流事業	アメリカ・バーモント州の高校へ派遣される。 (10日間程度自己負担 6万円程度)
12月	台湾桃園市立陽明高級中学訪問	7月頃募集 姉妹校へ訪問し、親睦・交流を深める。 (5日間程度自己負担 10万円程度) ※中止となる場合はオンライン交流を予定

12月	沖縄科学技術大学院大学（OIST）研修	7月頃募集 沖縄の科学技術者との交流、現地フィールドワークを行う。
1月	鳥取県高校生理数課題研究等発表会	12月頃募集 口頭発表上位入賞者は次年度6月に「鳥取県理数課題研究等発表会優秀者海外派遣事業」（アメリカ・バーモント州）に派遣される。

＜参考＞ 長期・短期留学への補助金制度の案内は県教委主催で実施予定。

（図 書）

昨今の大学入試では、習得した知識のみを問うのではなく、知識を活用して思考し、解答する力が求められるようになってきています。そこで、読書による経験や情報活用の力をつけることを意識し、新書を読むことの推進、各教科・学年・分掌への資料提供や授業に対する支援を積極的に行っています。

また、図書館を生徒の多様な利用の場と考え、学校行事や学習内容に即した展示、海外留学や派遣を経験した生徒の報告会「Tickets-to-the-World-Library」、図書委員会の活動を行っています。

今後も本校生徒が進路を実現し、心豊かな人生を送るための手助けを図書館として行っていきたいと思ひます。

事 務 部 事務長 高 島 道 子

事務部では、学校関係業務及び教育環境の整備等の事務を行っています。

施設設備の整備及び管理、授業に必要な教材や教員の購入、県予算の管理、生徒の在籍、卒業などに関する手続き、授業料（就学支援金）、学校徴収金の会計等の業務と広範囲に渡っています。特に本校は、全日制、定時制を併設していますので事務量が大きく複雑ですが、学校運営の一員として、すべてが「生徒のために」の信念を基に事務室一同取り組んでおります。

1 学校施設整備について

平成 31 年 3 月に第 3 グラウンド改修工事が終了し、平成 25 年度から続いた「改築整備事業」が完成しました。改修の対象外であった西校舎と北校舎は、教室エアコンの更新が計画されています。

2 奨学金制度について

各種奨学金の募集については、その都度クラス担任を通じてご案内をします。併せて事務室前での掲示、又は学校ホームページへの掲載等でご連絡しますので、ご家庭でもご確認をお願いします。

詳細については事務室にお問い合わせください。

3 授業料・学校徴収金について

授業料については、申請（世帯の課税状況の基準額あり）により認定された場合、「就学支援金」として国から充当されます。受給資格の認定申請は個人番号を利用して行っています。

学校徴収金（諸会費等）は、銀行等口座振替の方法により納めていただくこととしています。引落し日は授業料と同様に原則毎月 26 日です。前日までに残高確認をお願いします。納入金額等の詳細は、年度当初に配付する文書及び学校ホームページでお知らせしています。

その他、校外模擬試験代金などご負担も多いことと存じますが、ご理解をお願いします。

4 環境教育の取り組みについて

本校は鳥取県版環境管理システムⅡ種（TEASⅡ）に登録し、全生徒・全職員を挙げて環境に配慮した活動として、CO₂削減に向けて節電、節水、ごみの減量化などに取り組んでいます。ご家庭におかれましても、環境について話題にさせていただきようお願いします。

教職員の異動について

退 任

事務長	長谷川 恵 美
理 科	井 田 明 人
養護教諭	大 前 明 美
司 書	宇田川 恵 理

転 出

副 校 長	三 谷 徳 彦 (倉 吉 東)
主幹教諭	武 田 司 (米 子 南)
国 語	福 田 将 士 (米 子 西)
国 語	松 岡 美 里 (米 子)
数 学	田 中 宏 (日 野)
理 科	井 上 雅 雄 (県 外)
英 語	波多野 真由美 (米 子 西)
英 語	赤 木 綾 香 (境港総合技術)
養 護	柴 田 智恵子 (倉吉総合産業)

転 入

副 校 長	中 原 達 夫 (倉吉総合産業)
事務長	高 島 道 子 (境港総合技術)
主幹教諭	吉 村 眞 徳 (米 子 東)
国 語	完 田 一 郎 (米 子 西)
国 語	西 山 幸 代 (日 野)
地歴公民	後 藤 裕 樹 (新 採 用)
理 科	田 中 沙耶花 (鳥取工業)
理 科	井 田 明 人 (米 子 東)

理 科	齊 木 孝 輔 (新 採 用)
保健体育	山 田 舜 也 (就 将 小)
英 語	野 村 範 子 (境)
英 語	東 維央里 (新 採 用)
英 語	桑 田 瑞 貴 (米子北斗)
養 護	吉 岡 瞳 (境港総合技術)
司書主任	松 田 美智子 (境港総合技術)
理 科	松 永 健 太 (新 卒)
養 護	森 井 真 結 (新 採 用)

保護者が参加される 主な行事の予定

4月 入学式

5月 柏葉祭(体育の部)

7月 1年、2年、3年個別保護者会

PTA進路情報セミナー

9月 柏葉祭(文化の部)

10月 1、2年進路講演会

PTA大学キャンパス訪問

PTA人権教育講演会

12月 1年、2年、3年個別保護者会

1月 3年個別保護者会

3月 卒業式